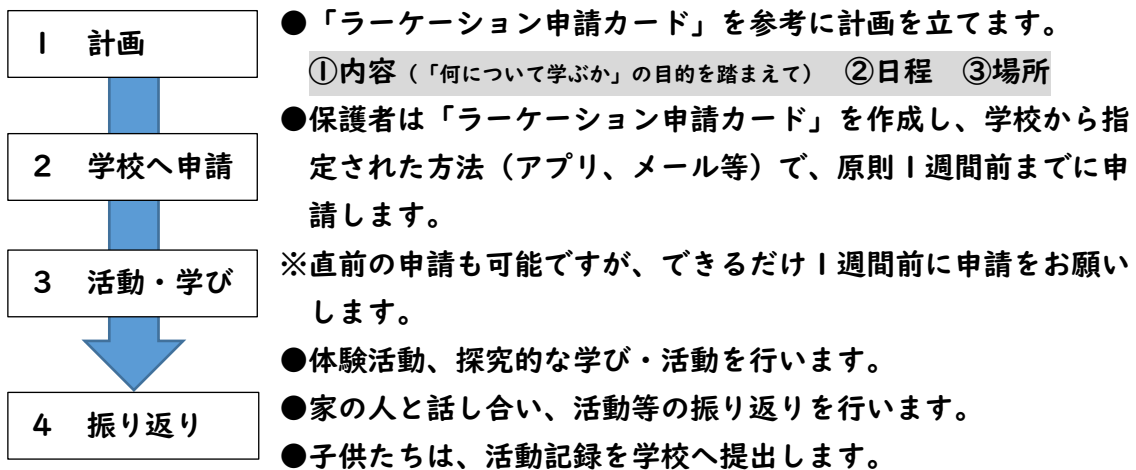


【ラーケーションとは】

これからの社会では、自己の在り方や生き方を考えながら、課題を発見し解決していくことのできる力が求められます。そのような力を身に付けるためには、地域に出かけたり、多くの人と出会ったりする体験的・探究的な活動を通して学んでいくことが有効です。また、自己の在り方や生き方を考えるためには、家の人とゆっくりと話をする時間も大切です。思いや悩み、不安について家族と一緒に考えることで、これまでの生活を振り返り、今後を見つめる良い機会になります。

平日に、子供たちが家の人などと一緒に、上述のような活動を行うことができるよう、茨城県・つくば市は年間最大5日間取得できる制度として実施します。

【ラーケーション申請の流れ】



【ラーケーション実施に当たっての確認事項】

- 事前に学校へ申請する必要があります。
- 活動の目的「何について学ぶか」（以下、学びのキーワードを参照）を事前にお子さんと話し合い、ラーケーションを設定してください。

<学びのキーワード>

自然、科学・技術、環境、観察・実験、文化、歴史、芸術、スポーツ、産業、経済地理、伝統芸能、国際理解、福祉、SDGs、創作、鑑賞、キャリア、哲学、人間 等

- 受けられなかった授業内容に関するサポートについては、学校を休んだ場合と同様になります。詳細は各学校にご確認ください。
- ラーケーションを利用した場合、学校は欠席にはなりません。
- ラーケーションを利用した後、子供たちは、体験したことや学んだことを「ラーケーション活動記録カード」などを活用して活動記録を作成し、学校に提出します。
- ラーケーションを利用した日の給食費については、返金はありませんので御了承ください。

- ラーケーションは、連続して取得することも分散して取得することもできます。日数は年度内5日間を限度とし、残った日を次年度に繰り越すことはできません。
- 保護者等が急きょ休みを取れることになった場合、実施の1週間前より後であっても申請することは可能です。
- ラーケーションでケガなどをした場合は、学校管理下での活動ではないため、学校で加入している日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度の対象外となります。

【活動の例】

<ワクワク発見！水族館や博物館に行こう>

興味のある施設に行き、時間をかけてじっくりと見学や体験をしてみましょう。

探究したくなる発見がそこにはたくさんあるかもしれません。



<気分は研究者！レポートを書いてみよう>

興味のあることや疑問をもったことについて調べ、レポートに書いてまとめてみましょう。

書いたレポートをコンテストに応募してみるのもよいでしょう。



<学校体験！普段の様子を見に行こう>

学校の雰囲気や何を専門として学べるかを見つけるために、普段の大学や専門学校の様子を見てみましょう。

大学図書館や、周辺の街の雰囲気を味わうのもよいでしょう。



<将来について相談！お家の人に話してみよう>

将来についての思いや悩みなどをじっくりと家の人と話し合ってみましょう。

今考えていること、これからのことをお家の人と話すときっとすっきりするかもしれません。

